

講義科目名称：ライティング&グラマーⅡ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
富場 康			

講義概要	「日本留学試験」「日本語能力試験1級・2級・3級」を受験する際に対応できるように、前者の「読解」「聴読解」「聴解」及び後者の「言語知識（文字・語彙・文法）」「読解」「聴解」の分野での日本語力の向上を図りながら、日本語の総合的な力を高める。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト 学習課題 復習：プレースメントテストでできなかった問題のやり直し 予習：「読解1」の語句を調べておく。	
	2	日本留学試験1 日本留学試験 読解1 学習課題 復習：「読解1」の問題をやり直し。 予習：「読解2」の語句を調べておく。	
	3	日本留学試験2 日本留学試験 読解2 学習課題 復習：「読解2」の問題のやり直し。 予習：「読解3」の語句を調べておく。	
	4	日本留学試験3 日本留学試験 読解3 学習課題 復習：「読解3」の問題のやり直し。 予習：「聴読解1」の語句を調べておく。	
	5	日本留学試験4 日本留学試験 聴読解1 学習課題 復習：「聴読解1」のスキットの見直し。 予習：「聴読解2」の語句を調べておく。	
	6	日本留学試験5 日本留学試験 聴読解2 学習課題 復習：「聴読解2」のスキットの見直し 予習：「聴解1」の語句を調べておく。	
	7	日本留学試験6 日本留学試験 聴解1 学習課題 復習：「聴解1」のスキットの見直し。 予習：「聴解2」の語句を調べておく。	
	8	日本留学試験7 日本留学試験 聴解2 学習課題 復習：「聴解2」のスキットの見直し 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）1」の語句を調べておく。	
	9	日本語能力試験1 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）1 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）1」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）2」の語句を調べておく。	
	10	日本語能力試験2 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）2 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）2」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）3」の語句を調べておく。	
	11	日本語能力試験3 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）3 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）3」の問題の見直し。 予習：「言語知識（文字・語彙・文法）4」の語句を調べておく。	
	12	日本語能力試験4 日本語能力試験 言語知識（文字・語彙・文法）4 学習課題 復習：「言語知識（文字・語彙・文法）4」の問題の見直し。 予習：「聴解1」の語句を調べておく。	
	13	日本語能力試験5 日本語能力試験 聴解1	

	学習課題 復習：「聴解 1」の問題の見直し。 予習：「聴解 2」の語句を調べておく。 1 4 日本語能力試験 6 日本語能力試験 聴解 2 学習課題 復習：「聴解 2」の問題の見直し。 予習：「聴解 3」の語句を調べておく。 1 5 日本語能力試験 聴解 3 日本語能力試験 聴解 3 学習課題 復習：「聴解 3」の問題の見直し。 予習：定期試験の準備をする。
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本留学試験の「読解」問題に対応できる力をつける。 ②日本留学試験の「聴読解・聴解」問題に対応できる力をつける。 ③各自の能力に応じた日本語能力試験 1・2・3 級の「言語知識（文字・語彙・文法）」問題に対応できる力をつける。 ④各自の能力に応じた日本語能力試験 1・2・3 級の「読解」問題に対応できる力をつける。 ⑤各自の能力に応じた日本語能力試験 1・2・3 級の「聴解」問題に対応できる力をつける。
	平素の学習意欲を重視し、授業中の小テストおよび試験などにより行う。
	平素の学習意欲（20%） 授業中の小テスト（30%） 定期試験（50%）
教科書・参考書	テキスト：最初の授業で指示する。 参考書：授業中に随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	必ず辞書（電子辞書でも可）を持ってくること。
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	わからない設問があるときは、どんどん質問して下さい。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
内山 智子			

講義概要	受講者の日本語習熟度合いを勘案しつつ、そのつど適切な参考資料・テキストを駆使して、よりの確な日本語の把握を目指す。		
授業計画	1	オリエンテーション 授業に関するオリエンテーションおよびプレースメントテスト 学習課題 復習： 予習：	
	2	文法 1 入門段階に応じた基礎項目を取りあげる。 ライティング 1 最も基本的かつ重要な内容から始める。 学習課題 復習： 予習：	
	3	文法 3 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	4	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	5	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	6	文法 前内容の復習、新規内容の展開、小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	7	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(新聞記事) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	8	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(新聞記事) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	9	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(グラフ・統計) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	10	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(グラフ・統計) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	11	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(グラフ・統計) 小テスト ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	12	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(日本語能力問題) ライティング 学習課題 復習： 予習：	
	13	文法 前内容の復習、新規内容の展開、(日本語能力問題) ライティング 学習課題 復習：	

	予習: 14 文法 前内容の復習、新規内容の展開、(異文化体験発表)小テスト ライティング 学習課題 復習: 予習: 15 文法 Term Examに向けての復習 ライティング 学習課題 復習: 予習:
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①日本語能力試験において、N3合格95点、N2合格90点以上を目指す。自己の能力を知り、次のステップへの目標を設定する。 ②日誌や記録ノート日本語で毎日記入し提出する。それを基に実績タームの異文化体験(カルチャーショックなども含め)を振り返り検証する。 ③学内での日本人と留学生との交流を通じ、さらに異文化事情の理解を深める。 ④卒業後の進路について再考し、具体的な計画を立てることができる。 ⑤日本の新聞を読む、またニュースや報道の映像を視聴し、客観的にかつ多角的に処理・分析することができる。また複数の表やグラフから読み取れることを比較検討することができる。自分の意思を日本語で文章化することができる。 平素の学習意欲(20%)を重視し、授業中の小テスト(30%)および定期試験(50%)などにより行う。
教科書・参考書	テキスト:最初の授業で指示する。その他の参考書類:随時指示する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	TOEICの学習をベースに、ライティングとグラマーを学習する。授業の中で、語彙数を増やし、リスニング力を高め、文法、英文を行う。また、テーマ毎に、英語のライティングも行う。		
授業計画	1	Traveling 位置を表す表現、WHで始まる疑問文、自動詞と他動詞、情報発見力を身につける 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	2	Daily Life & Shopping 動作・動きを表す表現、設問を先読み、呼応の理解、タイトルから目的・内容の予測 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	3	At Restaurants 動作・動きを表す表現、メッセージの目的の聞き取り、比較級・最上級、スキミング力をつける 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	4	Job Hunting 細部に注意、依頼の表現、関係代名詞・分詞の理解、ダブルパッセージ理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	5	At the Office 1 オフィス仕様の語句理解、オフィスでの頻出表現、空所の前後のヒント、読みのスピードアップ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	6	At the Office 2 写真問題攻略、短いスピーチ理解のポイント、名詞の加算・不加算の理解、数字の理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	7	Review Test 1 復習小テスト 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	8	Doing Business Online 言い換え表現、Howで始まる疑問文、仮定法の基本、注意書きの理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	9	Housing 動作・動きの表現理解、前置詞の基本イメージをつかむ、用紙や表に親しむ 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	10	Making Deals & Contacts 言い換え表現に注意、位置を示す語句、動名詞とto不定詞の違い 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	11	Public Service 付加疑問文の理解、時や理由、譲歩を表す接続詞、告知文の理解 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	12	Banking & Finance 物が主語になる場合、副詞と形容詞の違い、言い換え表現 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。	
	13	At Seminars & Workshops 選択肢表現、文脈の捉え方、メール内で使われる語句理解	

	復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 14 News & Media まぎらわしい発音の単語、Yes/No以外の応答表現、時制、全体か部分かの問題の見分け方 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 15 Review Test 2 復習小テスト 復習：学習した内容をノートに整理しておくこと。 予習：教科書やプリント教材の分からない単語等をしらべておくこと。 16 Review Test 2 まとめと評価
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	授業目標 ① 語彙数を増やす。 ② 英文法を正しく理解する。 ③ 英文のリスニングを正確に理解する。 ④ 英文の内容を正しく理解する。 ⑤ 日常で使う簡単な英語の文章を書く。 授業中に行う小テストと筆記試験で総合的に評価を行う。 筆記試験（８０％）、小テスト（２０％）
教科書・参考書	レベル毎にことなるために、教科書は、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	授業には、予習と復習をしてから参加すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	英語学習は、継続です。毎日、英語に触れるようにすること。

講義科目名称：ライティング&グラマーⅡ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
劉 敏正			

講義概要	主に文法を中心として学習し、学習した文法を使って文章を作る。同じ単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。	
授業計画	1	イントロダクション
	2	数字の復習
	3	第1課 病院 症状を伝え治療を受けることが出来る。
	4	第2課 紛失物 失くしたものについて説明が出来る。
	5	第3課 交換と払い戻し 品物を交換したり、払い戻すことが出来る。
	6	振り返り
	7	第4課 天気と季節 天気と季節の変化について説明出来る。
	8	第5課 予約 予約をしたり、変更やキャンセルが出来る。
	9	演習 グループワーク
	10	第6課 銀行 通帳を作ったり両替が出来る。
	11	振り返り
	12	第7課 アルバイト アルバイトの経験を話すことが出来る。
	13	第8課 家を探す 家を探して契約が出来る。
	14	演習 グループワーク
	15	まとめ
授業形態	講義・演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①中級レベルの文法を学習し、長文が書けるようになる。 ②単語や文を繰り返し書くことでその意味と活用方法が理解できる。 ③日常的会話表現が身につく。	
	授業参加度、小テスト、課題・グループワーク、期末テストの結果から教員が総合的に判断する。	
	授業参加度（20％）、小テスト（30％）、課題・グループワーク（10％）、期末テスト（40％）	
教科書・参考書	テキスト：開かれた韓国語 初級3/図書出版 夏雨	
履修条件		
履修上の注意		
オフィスアワー	授業の前後で対応します。	
備考・メッセージ	学習者の学習進度やレベルに応じて、学習計画を変更する場合がある。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ	2年	2単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	中国語は語順が一見かなり自由なようだが、一定のルールに沿って語句が配列されている。その語順のルールを把握することが中国語力を確かなものにする重要な基礎となるので、この授業ではこれに関する並べ替え練習を多く行う。同時に8クォータの卒業研究における論文作成を視野に入れ、中国語で学術論文等を作成する方法について触れる。		
授業計画	1	動作の諸相 (1) 時制とアスペクト	
	2	動作の諸相 (2) 結果・方向・可能	
	3	動作の諸相 (3) 二重目的語と対象を表す前置き詞	
	4	動作の諸相 (4) 使役・その他の使役動詞	
	5	動作の諸相 (5) 受け身・その他の受け身文	
	6	つながり方 (1) 仮定・条件	
	7	つながり方 (2) 順序・全称	
	8	つながり方 (3) 原因・目的	
	9	つながり方 (4) 逆接 (ではなく～だ)	
	10	つながり方 (5) 並列・累加	
	11	標点符号の使い方 (1) 句点、マル、コンマ、読点、省略号、書名符号	
	12	標点符号の使い方 (2) コロン、疑問符、引用符、カッコ	
	13	論文の書き方 (1) 章立ての仕方、引用の仕方、先行研究の調査方法	
	14	論文の書き方 (2) 参考文献や註の書き方、謝辞の書き方など	
	15	総括 復習および表現練習	
授業形態	①	文の組み立て方を学ぶ。	
	②	中国語の様々表現をアクティブに使えるようにすること。	
	③	表現の基本パターンとその語順を覚える。	
	④	論文の書き方を習得する。	
	⑤	類義表現のニュアンスを理解する。	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	定期試験、学習態度・意欲などから総合的に評価する。定期試験、学習態度・意欲などから総合的に評価する。授業内練習30%、レポート30%、定期試験40%。		
教科書・参考書	テキスト：『書く中国語』、董燕・遠藤光暁、(株)朝日出版社。 参考書：授業内容に合わせて別途提示する。		
履修条件			
履修上の注意			
オフィスアワー	授業以外の時間 (9時から17時までの間) ならいつでも気軽に訪ねてください。		
備考・メッセージ	口語能力こそ文章能力の基礎であることを念頭に置きながら、練習に励んでほしい。		